

きっず組支援プログラム・年間活動計画

事業所名		こども発達支援センターひゅーるぼん きっず組								作成日	2024年4月1日	
営業時間		9時～18時		サービス提供時間		月・火・木・金曜 13時00分～17時45分、土曜 9時15分～15時30分			送迎	有		
法人理念		子どもたち、障がいのある人たちが、共に、いきいきと楽しく、相互につながりながら、あったかにくらしていける街をめざして、そのための支援と街づくりの活動を行います。										
支援方針 (年間活動目標)		子どもたちが、いきいきと人や社会と繋がって、自分の力を発揮しながら生きていけるよう育ちの支援を行います。そのために、安心感を基盤にした環境の中で、さまざまな主体的な活動を通して子どもたちの「社会力」を育んでいきます。 ○子ども主義を大切に、本人に寄り添いながら、それぞれの成長を促すことができる。 ○障がいのあるなしに関わらず、こどもたちが集い生き生きとそだちあう場になる。 ○子ども自身が主体性を持って自分達の活動を作っていく、また参加することができる。										
支援内容	健康・生活	基本的な生活習慣チェック表をもとに、一人ひとりの力に応じた健康な生活を送る基本となる力を育てていきます ○生活リズムの確立 ○外遊びなどを通じた健康な体づくり ○適切な手洗いの習慣 ○トイレの適切な使い方 ○おもちゃ、本、掃除用具などの扱い方 ○季節毎の衣服の調整や整頓 など										
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用、保有する感覚の活用と感覚の特性への配慮、身体機能の向上 ○外遊び、運動遊びを通じた体力づくり ○工作、クッキングなどを通じた巧緻動作の向上 ○合気道(月2回) など										
	認知・行動	認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、行動障害への予防及び対応等 ○興味関心を広げる体験活動(旅行、遠足など) ○音楽プログラム(月2回) ○個別に応じた表示や用具等の工夫 など										
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、状況に応じたコミュニケーション ○安心して気持ちを表出できるスタッフとの関係作り ○小集団での楽しめる遊びを通じた他者への意識とコミュニケーション など										
	人間関係・社会性	情緒の安定、他者との関わり(人間関係)の形成、遊びを通じた社会性の発達、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加 ○人とのやり取りの中で葛藤場面を乗り越える ○集団の中での規範意識の醸成 ○活動、行事の中での役割を持つ など										
	社会力	主体的な活動を通して、「交流感」「有能感」「自己決定感」をはぐくみ、「社会力」(社会の中で自己を発揮する力)の形成を行います (全年齢)安心感の形成 (小低)交流感→有能感、自己統制力 (小高)有能感の充実、自己決定感の育成 (中学～)社会性を帯びた力の育成										
期	一 期				二 期				三 期			
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スタッフの月間目標	○一人ひとりの子どもを知り、共に育ち合う適切な支援目標と手立てを考える。		○家庭・学校との連携を深め支援にいかす。 ○自己の知識を高める。		○1期の子どもの振り返りを行い、支援目標と手立てを考える。 ○子どもたちの主体的な活動を工夫する。		○家庭・学校との連携を深め支援にいかす。 ○保護者の悩みに寄り添い子供の育ちについて一緒に考える。		○事業所評価を受け、改善点などについて考える。		○2期の子どもの振り返りを行い、来年度の支援につなげる。	
主な行事	わくわくきっず(通年) → 外出活動 誕生日会		野菜の栽培	みんなの家交流会 誕生日会	キャンプ 水遊び	誕生日会	運動会 ハロウィンパーティ	外出プログラム 誕生日会 焼き芋会	餅つき クリスマス会	誕生日会	雪あそび 節分	旅行 おわかれ会 誕生日会
家族支援 (きょうだい支援)	○必要に応じて随時相談を受けつけ、保護者と共に子どもの育ちについて考えていく。 ○長期休暇期間中を中心に、きょうだい児の受け入れを行い、共に活動する。											
	保護者交流会	個別支援計画提示懇談	個別支援計画提示懇談	きょうだい児の活動参加	きょうだい児の活動参加		中間懇談	中間懇談 保護者勉強会	保護者交流会 きょうだい児の活動参加	きょうだい児の活動参加	期末懇談	期末懇談 きょうだい児の活動参加
移行支援/地域連携その他	○移行支援については必要に応じて関係機関(学校、医療機関、その他機関)との連携を行う。 ○わくわくきっず(地域交流)をおおむね週1回実施し、地域の子どもたちとの交流、育ち合いの場を作る。											
職員の質の向上	内部研修、外部研修への参加、ケース検討会議など											